

ホームページへの掲載	
1月22日	掲載予定

岐阜県立大垣北高等学校

校長 増田俊彦
学校住所 大垣市中川町4丁目110番地の1 電話 0584-81-2244

- 1 会議の名称 岐阜県立大垣北高等学校学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成
委員
石丸徳之 大垣市中川ふれあいセンター所長（欠席）
佐竹由希子 主婦（地域住民）
清水義弘 (株)イビコン代表取締役
田村弘司 同窓会代表
渡部加佳子 保護者代表（PTA代表）（欠席）
(委員名は五十音順)
学校側
伊藤宏記 育友会長
増田俊彦 校長
多田克美 事務部長
杉江祐子 教頭
澤藤哲也 教頭
内田康雄 教務部長
土肥義史 進路支援部長
田中卓哉 生活充実部長
森智子 3年学年主任
松野智博 2年学年主任
佐野智紀 1年学年主任
- 3 会議の目的 学校運営や教育活動について地域社会に情報発信するとともに、要望や意見を幅広く聞き、より一層地域社会に開かれた学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 令和3年1月15日(金) 13:20~15:00 大垣北高等学校(会議室)
委員3人と学校側11人が出席
- 5 会議の概要
(1) 開会(13:20~13:25)
・校長挨拶
(2) 授業体験(13:25~13:50)
・MetaMoji体験・同窓会動画コンテンツの拝聴
(3) 協議(13:50~14:55)
・学校評議員の意見に対する対応状況の説明
・生徒及び保護者対象アンケート結果について
・本校の自己評価について
(4) 閉会(14:55~15:00)
・校長挨拶
・令和3年度 学校運営協議会の設置について

【学校経営について】

- 意見 1 ・コロナ禍で、大変よくやっていただいた。朝の生徒の健康チェックはどのように実施しているのか。
- 回答 1 ・毎朝7時50分から昇降口付近で、4名の教員が健康チェックカードを点検し、手指消毒をさせている。カードやマスクを忘れた生徒、症状の項目に「有」とチェックして登校した生徒への対応は、教頭が行っている。
- 意見 2 ・PCR検査の対応等、年末年始を返上して、よくやっていただいた。感染症クラスターを発生させないため、行事を大幅に見直されたが、特に2年生の修学旅行が中止になったことに対して、生徒の気持ちをフォローしていただけたのか。「生徒及び保護者によるアンケート」の項目もそうだが、学校生活の中で生徒の関心がどこにあるのか、何を求めているのかに注意を払ってほしい。
- 回答 2 ・中止が決定された時、学年主任が学年集会で中止に対する自分の思いを述べ、各担任は生徒の残念な思いを受け止めるよう努めた。
・本校の生徒は将来、各界のリーダーになっていくことが期待されており、個人の立場ではなく、多面的に状況判断をしなければならない状況に直面することがあると思う。そのような状況に対応できる生徒を育てたい。
・2月の凧揚げ大会の実施についても、以前から生徒会に主催者としての判断を委ねていた。しかし、今回緊急事態宣言が出されたことを受けて、学校が中止もしくは延期の判断をすることになった。
- 意見 3 ・コロナ禍で、今までにないことが起こっている。学校と生徒の両方で、今まであったものを見直し、新たなものを作り上げてほしい。いろいろな個性や力をもっている生徒が多いので、それを伸ばすチャンスを提供してほしい。
- 回答 4 ・大変貴重なご意見として、受け止めさせていただく。

【学習指導について】

- 意見 1 ・先ほど見せていただいたクイズ形式の小テストなどは、生徒にとって楽しいものだと思う。一人一台のタブレットを活用して、生徒にいろいろな経験をさせてほしい。
- 回答 1 ・年度当初の休校時には、ICT活用能力の高い若手教員を中心に、オンライン学習支援の体制を作り上げることができた。そして他の教員がそのノウハウを習得していき、本校の教員のICT活用能力は飛躍的にあがっている。授業支援ソフトはまだ導入しただけであるが、研究を積み、高いレベルでの取組を実現していきたい。
- 意見 2 ・大学では、オンライン授業で学生の力がどれだけついているかを不安に思っていると聞いた。高校での取組は着実に進んでいると思うが、その成果を検証していかなければならない。
- 回答 2 ・そのとおりである。整備されたICT環境を学力の向上につなげていかなければならない。

【進路指導について】

- 意見 1 ・明日はいよいよ共通テスト本番だが、このような状況の中でも、教員は生徒のために尽力してくれた。生徒も勉強を一生懸命やってきたので、努力は報われると思う。
- 回答 1 ・本日の4限に行った激励会での学校長、進路支援部長、学年主任のメッセージはどれも、大変な状況の中での生徒の頑張りをほめたものであった。引き続き、私大入試、二次試験に向けてその頑張りを支援していく。
- 意見 2 ・今後も生徒たちのICTリテラシー、オンラインコミュニケーション力、自律的な判断

力をぜひ伸ばしてほしい。今回関東同窓会が動いて、先ほど見たような動画が制作されていることに驚いた。諸先輩の話聞くことで、子どもたち自身に「世の中で役に立ちたい」という自覚が芽生えるとよい。保護者も関わって、「こういう大人になりたい」という意識を育てる仕組みを作ってほしい。

回 答 2 ・同窓会の迅速な対応には本当に感謝している。今後も同窓会と協力して、ICTを利用したキャリア教育の充実を図っていく。

【生徒指導について】

意 見 1 ・ICTの普及についていけない生徒、ひきこもりがちな生徒等、子どもたちの姿をよくみて対応をお願いしたい。

回 答 1 ・本年度は「いじめに関するアンケート」「生徒実態調査」に加え、定期的に「心のアンケート」を実施している。生徒指導部長がその都度、丁寧かつ迅速に対応している。

意 見 2 ・第1回学校評議員会での意見に対して、きちんと対応されていることに感動した。また担任から子どものことで連絡をいただき、丁寧な対応をしていただいた。教員の熱心な指導が、子どもたちの力につながっていると感謝している。

回 答 3 ・学校に対するご理解をいただき、本当にありがたい。

6 会議のまとめ

第1回学校評議員会では、生徒のICT機器活用能力の育成に向けた取組とキャリア教育を推進するうえで、卒業生の有効活用に大きな期待が寄せられていた。今回は、緊急事態宣言が発令されたため、当初予定していた授業参観を中止し、導入したばかりの授業支援ソフトの体験と、関東同窓会が試作した動画の視聴をしていただいた。

協議においては、第1回学校評議員会でいただいたご意見への対応状況を確認していただき、学習の個別最適化と探究の時間におけるキャリア教育の可能性について説明させていただいた。また、生徒及び保護者対象アンケートの結果については、すべての項目で高い評価を受けていることに感心していただいた。その後、学校長からの本校自己評価の説明、分掌長や学年主任の「一年間のふりかえり」に対して、ご質問やご意見をいただき、新型コロナウイルス感染防止という制約の中での教育活動に対して、本校の自己評価にご賛同いただけた。

今回いただいたご意見より、ICT環境を効果的に活用した学力向上につながる主体的な学びの推進、同窓会と協力したキャリア教育の充実、制約下での行事における生徒の自律力の育成に、大きな期待が寄せられていることがわかった。

令和3年度からは、この学校評議員会を発展的に解消し、学校運営協議会を設置する。上記の期待を継承し、各方面からのご意見をいただきながら、スクールポリシーの策定に努めていきたい。